

「次世代施設園芸拠点」の整備に関する提言

要望先 農林水産省

政策提言の要旨

現在国で検討が進められている「次世代施設園芸拠点」の整備について、次のとおり提言します。

- 1 施設整備にあたっては、従来の補助事業より手厚い支援策を講じること。
- 2 拠点整備に必要な不可欠な土地基盤整備についても補助対象とすること。
- 3 オランダなど先進国の技術者による技術指導などのソフト経費もあわせて補助対象とすること。

【政策提言の理由】

農業が自立した「成長産業」となるためには、生産性の向上や経営規模の拡大などの取り組みを加速化させることが重要です。そのためには、現在、国において検討が進められている「次世代施設園芸拠点」の整備を先導的な取り組みとして、以下の点にも留意していただき、積極的に推進していくべきだと考えています。

- 1 次世代施設園芸拠点の整備にあたっては、大規模な高軒高ハウスや環境制御装置、集出荷施設等の整備にかかる経費が多額となり、事業実施主体の負担が大きくなります。この次世代施設園芸の普及を加速化していくためにも、モデル的な取り組みとなる今回の事業は、従来の補助事業より補助率を手厚くするなどの財政的支援が必要です。
- 2 拠点整備には、土地基盤整備が必要不可欠ですので、土地基盤整備に要する経費についても補助対象とすることが必要です。
- 3 先進技術による生産性の高い施設園芸を実現するためには、オランダなどの最先端の技術を地域の気候条件や品種などに即した技術に改良することが必要です。
そのため、オランダなど先進国の技術者による技術指導などのソフト経費についても補助対象とすることが必要です。